

名称 GCOS (Global Climate Observing System)

日本語名 地球気候観測システム

親機関 ICSU-IOC-WMO

住所 51 Blvd. de Montmorency, 75016 Paris

国名 FRANCE

電話 33-1-45-25-03-29

ファックス 33-1-42-88-94-31

---

1. タイプ：国際的モニリング計画

2. 地理的範囲：世界

3. 目的

1991年10月にGCOSの組織化に着手する旨の覚え書が、WMO, IOC, ICSU 間でとりかわされ、1992年1月に発効した。GCOSは、既存・計画中の全球気候のモニタリングシステムと研究計画の調整にもとづいている。GCOSの目的とするところは次のような情報要件を満たすことである。

- (1) 環境とくに陸上の植生に与える影響と地球気候を観測し、有意な全球レベルの気候変化と長期の人間活動に対する応答を探知する。
- (2) 各国の経済と開発に気候学的に応用する。
- (3) 気候研究と気候変動の予測を行う。

GCOSはWMO, IOC, ICSU 関連国政府と研究所に加えて、他の国際機関にGCOS プロジェクトの実施に参画することを要請している。WMO, IOC, ICSUは合同科学技術委員会 (JSTC, Joint Scientific and Technological Committee) の設立に合意し、全体計画を立て、GCOSの範囲を定義し、GCOSの組織化と発展の科学技術的指針を提供する。JSTCは次の責務を負う。

- a. 気候観測の要件を同定し、観測システム設計目的を定義し、GCOSの実効性を最適化するために参加機関による活動を調整する。
- b. GCOSのサブプロジェクトの実施をレビューし、監督機関に報告する。
- c. 関連機関とデータ利用者間で情報を交換する仕組みをつくる。JSTCは個々の専門分野での経験を基礎にして、共催機関の合意により選定された15名の科学・技術専門家からなる。JSTCはGCOSの実施と展開を助言するための主要な科学・技術団体となる。JSTCはジュネーブのWMO事務局におかれた共同計画事務局によってサポートされている。

4. データ管理： ---

5. 協力関係： ---

6. 参考文献

ICSU, 1992: Year Book 1992.